

えひめ未来塾



プログラミングによるロボット操作体験
(うちこ未来塾【内子町】)

①【四国中央市】新宮小中学校放課後わくわく教室	42
②【西条市】丹原西中地域未来塾	43
③【内子町】うちこ未来塾	44
④【西予市】宇和下学び舎	45
⑤【宇和島市】うわじま土曜塾	46

新宮小中学校放課後わくわく教室【四国中央市】

～山間部における子どもの学習支援～

◆活動の目的・理念

- 児童の学習習慣の定着と学力向上
- 児童一人一人の習熟度に応じた丁寧な学習指導の実施
- 多様な学習機会の提供による心豊かな健全育成

活動場所	新宮小・中学校	対象児童・生徒	小学1年生～6年生	対象学校区名	新宮小・中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	115 日	毎週月～金曜日	15 : 00 ~ 18 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	31 人/日	学習支援員	3 人/日	教員OB、地域住民ボランティア	
協働活動サポーターのべ人数	25 人	ALT(外国語指導助手)		ボランティアのべ人数	0 人
活動内容	宿題や復習の学習支援、学習習慣の育成、英会話や体力づくりなど学習機会の提供			参加者募集	小学校を通じて案内文書を配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

● 宿題にじっくり取り組もう

学校から提出された宿題を中心に学習に取り組んでいる。宿題で分からないところがあれば、教員OBの学習支援員が、児童一人一人の習熟度に応じた学習指導を丁寧に行っている。また、わくわく教室で準備したプリントなどにも取り組むことができ、学習支援員と相談しながら苦手なところを重点的に教えてもらうなど、個性や能力に応じた指導が可能となっている。

● 英会話や体力づくりなど、多様な学習機会を提供

学校の指導方針で小学1年生から英語に親しむ活動が行われていることから、ALTと連携し、高学年・中学年・低学年に分かれた英会話教室を週1回開催している。

また、講師の特技(専門性)を活かしたスポーツ教室も週2回開催して、陸上競技やバドミントンなど楽しく体を動かしながら体力と運動技術の向上を図っている。

● 学校や家庭との連携

毎月1回、学校と教育委員会、学習支援員と一緒に定例会を開催し、児童一人一人の学習の進捗度や特性を確認し、より良い学習指導・支援方法を毎回検討し、実施している。家庭には、毎月、児童の参加予定日を聞き、家庭でも学習機会を設けるようにしている。



(体力づくりの様子)

児童の感想(学習意欲の向上)

- ・宿題が終わった後にプリントができて、読書もできるので自分の力になっていると思います。
- ・英語の学習で英語が少しずつできるようになりました。

<特色ある取組>

● 学校と連携した教員OBによるきめ細やかな学習指導

教員OBが学習支援員となり、学校との連携を密に行うことで、児童一人一人に合ったきめ細やかな学習指導を実施することが可能となっている。

例えば、学校と学習支援員が話し合い、課題を確認しながら学習の積み重ね・習慣化による成就感を高めようと宿題の量を調整することもある。

また、学習のみに限らず、さまざまな場面における児童の特性を十分に共有し、長所を伸ばせるよう、自己有用感につながる役割を与えるよう指導をしている。



(学習指導の様子)

事業を実施して

【成果】

- 児童の学習に対する意欲向上が見られるようになり、学習の定着が図られるようになった。
- スポーツ指導では、異学年同士の交流もあり、縦のつながりを通じたコミュニケーション力や思いやりの心が育まれている。

【課題】

- 保護者などに家庭学習の重要性を理解してもらい家庭においても学習の習慣化を図りたい。
- 市の中心部から離れた山間部の学校で実施されているため、学習支援員の確保が難しい。
- 保護者に活動内容を紹介する機会の確保が難しい。

丹原西中地域未来塾【西条市】

～中学生の学びを地域で支えよう～

◆活動の目的・理念

- 中学3年生を中心に数学の学力を高める。
- 子どもたちに必要な教育支援に取り組み、進路選択を支援する。
- 落ち着いた環境の中で、仲良く仲間と共に学び合う。

活動場所	丹原西中学校	対象児童・生徒	中学1・2・3年生	対象学校区名	丹原西中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	20 日	毎週月曜日	16 : 00 ~ 17 : 10	
	土・日・休業日等	日	夏季休業中の月～金	: ~ :	
児童・生徒の平均参加人数	12 人/日	学習支援員	5 人/日	教員OB	
協働活動サポーターのべ人数	20 人	教職員	ボランティアのべ人数	0 人	
活動内容	宿題やテスト対策の学習支援、学習相談への対応		参加者募集	中学校が希望者を募る。	

取組の概要

<主な取組内容>

- 3年生の受験対策としての学習支援
 - ・毎月、定期的に受験対策としての学習を支援する。
 - ・分からないことや行き詰まっている内容を解決する。
- 1、2年生の定期テストに対する学習支援
 - ・落ち着いて学習に取り組めるように支援する。
 - ・テストやテスト勉強の取り組み方について一人一人にアドバイスをする。
- 地域や学校の連携
 - ・学習の様子や学習内容について学校と情報交換をする。
 - ・学校だよりや公民館だよりに未来塾の活動の様子を掲載する。



(学習支援の様子)

生徒の感想

- ・ 入試問題の過去問などを質問して、解決できたので、とても分かりやすかった。
- ・ 疑問に思っていたことが解決できたので、定期テストに自信をもって取り組めた。
- ・ 仲間と一緒に楽しく学習に取り組めた。

<特色ある取組>

- 中学3年生の高校入試対策として、主に数学を支援した。
- 中学1、2年生には中間テストや期末テストの取り組み方や問題解決の支援をした。
- 一人一人の生徒が自信をもって学習に取り組めるよう、個別支援を大切にしながら、指導の充実に努めた。



(学習活動の様子)

事業を実施して

【成果】

- 支援者の丁寧な支援によって、生徒は積極的に学習に取り組んでいた。
- 3学期の放課後も実施を計画しており、未来塾の活動が定着してきている。

【課題】

- さらに学校との連携を深め、活動の充実を図りたい。
- 数学を中心に支援したが、他の教科の要望もある。そのためには支援者の確保が必要である。

うちこ未来塾【内子町】

～地域で子どもの新しい学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人一人が意欲的にプログラミングを体験する取組を支援する環境を提供する。
- 生活につながるプログラミング活動を目指す。

活動場所	自治センター・学校等	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	内子町内小学校
開催日数・曜日・時間等	夏季休業中 平日放課後	4 日	不定期	15 : 00 ~ 17 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	13 人/日	学習支援員	2 人/日	地元企業	
協働活動サポーターのべ人数	0 人		ボランティアのべ人数	0 人	
活動内容	プログラミング体験教室		参加者募集	小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

- 第1・2回「町並の建物を学んでマインクラフトでゲーム建築」
【夏の体験講座】
 - ・町並保存センターを会場に、木造建築について学ぶ。
 - ・マインクラフトをプログラミングで操作してみよう。
- 第3回「グーグルマイマップを使って旅行計画を友だちと立てよう」
 - ・学校を会場に、放課後にGIGA端末を使って実施。
- 第4回「ロボットプログラミングに挑戦」
 - ・学校を会場に、放課後にGIGA端末を使って実施。
 - ・レゴロボットをプログラミングで操作し、センサーで動作を制御させる。

児童の感想

- ・マインクラフトのゲームはやったことがあったけど、プログラミンでの操作はちょっとちがっていました。いろいろな建物をつくってみたいです。
- ・プログラミンでゲーム建築をするのが楽しかったです。難しそうだなと思っていたけど、やってみるとすぐにできるようになりました。



(プログラミング体験教室)

<特色ある取組>

● 地域の特色を生かした体験活動

- ・林業が盛んな内子町の特色を生かし、プログラミングによるロボット操作を木材運搬の場面を想定して行った。
- ・不整地産業用ロボットを開発する会社「CuboRex」との共催で、現場で使われるロボット操作を実際に見ることができた。プログラミングと生活との関連を知ることができた。



(ロボット操作体験)

指導者の声

この活動で、山間部でのICT教育の推進と、子どもたちに林業の仕事と林業のアップデートについて考えるきっかけを提供したい。

事業を実施して

【成果】

- いろいろな活動を通して、プログラミングが生活の中で活用されていることを体験することができた。
- プログラミングだけでなく、地域の産業や特産品について体験し、理解を深めることができた。

【課題】

- 子どもたちの興味・関心を高める教材の開発
- 活動を広めるための学校・家庭との連携
- 学校のプログラミングとの連携、教材開発

宇和下学び舎【西予市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人一人が目標を持ち、意欲的に学力向上をめざす子どもの学びを支援する環境を提供する。
- 地域の方々の協力を得ながら、学力の定着をめざす。
- 一人一人に応じた子どもの学びを支援する。

活動場所	下宇和公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	田之筋小学校 皆田小学校
開催日数・曜日・時間等	土曜日	18 日	毎週土曜日	9 : 00 ~ 11 : 30	
児童・生徒の平均参加人数	12.4 人/日	学習支援員	3 人/日	教員OB、学校生活支援員等	
協働活動サポーターのべ人数	57 人	教員OB等、地域の方		ボランティアのべ人数	0 人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応			参加者募集	小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録(随時受付)

取組の概要

<主な取組内容>

- **宿題にじっくり取り組もう**
・落ち着いた環境の中で、集中して学習する。
- **目標をもって学習しよう**
・自分で時間や内容を決めて学習する。
- **苦手を克服しよう**
・学習のつまづきに気付き、その場で指導者に教えてもらい、分かる楽しさを味わう。
・宿題の分からない所を指導者とともに考えることで、できた喜びや達成感を味わう。
- **家庭学習の進め方を学ぼう**
・学習の仕方を身に付け、家庭での学習習慣の育成につなげる。



(学習の満足度アンケート結果)

児童・生徒の感想

- ・算数が良く分かるから参加して良かった。分かったらその教科が好きになった気がする。
- ・いろんな先生に分からなかった宿題などを教えてもらうので、あまり好きでもなかった勉強もだんだん好きになってきたことが良かったです。
- ・他の学校の子と交流ができていい。
- ・良かったと思うことは、勉強がスムーズに進むことです。

<特色ある取組>

- **地域の人材を生かした学力向上**

地域に在住の指導者を招き、児童の指導をお願いしている。元教員や学校生活支援員を経験されている方を中心に構成することで、児童への指導や対応をきめ細かに行うことができ、児童・保護者からも高評価を得ている。



(個に応じた学習支援)

事業を実施して

【成果】

- 利用者が増加し、保護者の評価も肯定的であった。
- 児童が学習の仕方に慣れ、熱心に学習できている。
- 事務局と指導者間の連絡調整にはSNSを利用するなどしてスムーズな連絡体制を構築することができた。

【課題】

- 新型コロナウイルス感染症に対する更なる対策
- 児童数と指導者数のバランス及び会場の確保
- 環境の整備(wifi、問題集の購入)

うわじま土曜塾【宇和島市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 勉強の遅れがちなお小中学生に対して、自ら学習する習慣を身に付けさせる。
- 基礎学力を身に付けることに重点を置いた、分かるための学習指導を行う。
- 情操の涵養を図り、勉強する意味を学び、将来の夢や目標を持つことができるよう様々な体験活動を実施する。

活動場所	市内5カ所の公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生 中学1年生～3年生	対象学校区名	宇和島市立の小中学校 (小学校28校、中学校6校)
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	日	毎週土曜日(午前の部)	9 : 00 ~ 12 : 00	
	土・日・休業日等	40日	毎週土曜日(午後の部)	13 : 30 ~ 16 : 30	
児童・生徒の平均参加人数	1カ所 32人/日	学習支援員	1カ所 4人/日	教員OB、塾講師、家庭教師など	
協働活動サポーターのべ人数	人		ボランティアのべ人数	人	
活動内容	教科書準拠の教材やeトレ(プリント教材)を活用した個に応じた学習支援や体験活動を行う。		参加者募集	各学校を通じてチラシ配布により募集(申込者多数の場合は書類選考)	

取組の概要

<主な取組内容>

● 学習指導

- ・児童生徒に前学年までの学習内容のテストを行い、学習習熟度を把握する。
- ・学年、学習習熟度などによって、1～8名程度のグループに分ける。
- ・スタッフが予め学習の計画を立てて教材研究を行い、興味を持って学習ができるよう工夫する。
- ・教科書準拠の教材の補習としてeトレ(プリント教材)を活用し、個人の能力に応じた学習ができるよう工夫する。
- ・分からない問題への対応や学習に関する相談に乗り、必要に応じて児童生徒と面談する。

● 教室ミーティング、リーダー(塾長)会議、全体研修会

- ・月に1度、各教室でミーティングを行い、児童生徒の学習状況や課題などをスタッフが共有する。
- ・必要に応じて、各教室のリーダー(塾長)、コーディネーターや担当者などが集まり、協議を行う。



(学習の様子①)



(学習の様子②)



(教室ミーティングの様子)

児童・生徒の感想

- ・分かりやすい指導のおかげで、分からなかったことが理解できた。
- ・分からない問題の解き方や調べ方が分かったことで、自ら進んで宿題に取り組めるようになった。
- ・寄り添って相談に乗ってもらえたことで、周囲の人に感謝できるようになった。

<特色ある取組>

● 体験活動

将来の夢や目標を考える機会として、企業の出前授業やスタッフが企画した内容など、様々な体験活動を実施している。

- ・職業カードを使ったキャリア教育(ジョブカフェ愛work)
- ・SDGs講習と福祉車両等の試乗体験(愛媛トヨタ自動車)
- ・ドローンプログラミング教室(コムスクえひめ)
- ・ものづくり(かんな掛け)体験(愛媛県職業能力開発協会)
- ・液体窒素を使用した-196℃の世界(四国ガス)
- ・茶道体験、クリスマス会 など



「ものづくり体験」
杉と檜の寄木細工
コースターを作る。



「-196℃の世界」
バラを液体窒素に
入れて凍らせる。



「茶道体験」
季節のお菓子と
お茶をいただく。

事業を実施して

【成果】

- 個人の能力に応じた学習支援を行うことで、自発的に質問や発表をしたり、宿題を進められるようになったり、学習に対する取組が積極的になった。
- 様々な体験活動を通じて、勉強する意味を学び、将来や目標について考えるきっかけを与えられた。

【課題】

- 学校や地域との連携を推進するため、塾に関する情報発信を強化したい。
- より充実した運営ができるよう、地域人材(スタッフ)の発掘及びスタッフの指導スキル向上を図りたい。